

日本最南端の自然文化都市



ISHIGAKI



新しい時代の郷土料理の味と香り 料理文化をつづる

「食事」。その営みは成長し生存を続けて活動していくために、必要な栄養素を食物から取り入れるための最も基本的な生活習慣である。

人類は、旺盛な好奇心でさまざまな味と香りを求めて、食べることを文化にまで高めてきました。また、それぞれの土地において長い時間をかけて工夫された独特の食材や調理法、栄養の摂取方法を連続と伝承してきました。

今月は、民宿経営の傍らで八重山の郷土料理を研究してこられた字大川の石垣愛子さんを紹介します。

(関連記事7ページに続く)

2000年
No.339

1月号

(平成11年11月末日現在)

人口と世帯数

総人口	44,498(+54)
男	22,334(+27)
女	22,164(+27)
世帯数	16,999(+44)

(平成11年11月末日現在)

■今月の主な内容

2000年問題の対策	P 2	交流都市からメッセージ	P 5
大濱市長年頭のあいさつ	P 3	郷土料理について	P 7
小底議長新年のあいさつ	P 4	税を知る週間優秀作品	P 10

二〇〇〇年問題で対策本部を設置 市民生活に影響なく新年迎える

新年祝賀 名刺交換会を開催

一九〇〇年代を締めくくるに当たって世界的に問題になったのが西暦二〇〇〇年問題でありました。

石垣市は、コンピューターが誤作動を起こす恐れのある西暦二〇〇〇年問題(Y2K)に備えて市民生活に大きな障害が発生することのないように、十二月三十一日午後九時に市役所庁議室において「石垣市二〇〇〇年問題対策本部」を設置しました。

新空港・ 総合計画策定へ取組み

石垣市では新たな年を迎えて一月四日から業務を開始し、「仕事始めの式」「新年祝賀名刺交換会」などの新年の諸行事を開催しました。

午前十時から市役所玄関前において「仕事始めの式」が行われました。大濱市長は年頭の訓示の中で「今年は二十一世紀を迎えるための準備の年になる。石垣市の将来を開くため、知恵を集めて解決しなければならぬのが新石垣空港の位置決定である、問題解決へ向けて取り組んでいきたい」とあいさつを行いました。また、第三次石垣市総合計画の策定作業について、「十年先の石垣市の姿を実現するため、職員一人ひとりがまごりへの気概をもってほしい」と述べました。

石垣市主催の新年祝賀名刺交換会は午後三時から、市内ホテルで行われ、多数の市民が出席し、八重山民俗舞踊保存会員による舞踊「鶯の鳥節」、大濱助役による「開会のことば」に続いて市商工会婦人部による石垣市歌のコーラスで幕を開けました。

この後、大濱市長と小底嗣洋市議会議長があいさつを行いました。大濱市長は「二十一世紀を目前に控え、高齢化社会への対応、地方分権も重要な問題として取り組む。新空港問題は位置決定がなされ建設に向け大きく前進するものであり、市民一人ひとりが認識を新たにして立ち向かうのであれば、石垣市の将来は、大きく開けるものと確信する。『いしがき新時代』へ向けて新たな情熱を持って市政運営にあたりたい」と述べました。祝宴では、木場八重山支庁長の乾杯のあいさつのもと石垣市文化協会や八重山民俗舞踊保存会による合奏や舞踊が行われました。



二〇〇〇年問題対策本部を設置



仕事始めの式



新年祝賀名刺交換会

同本部を設置するに当たり、大濱市長は「二〇〇〇年問題の対策をとってきたが、市民生活に影響がないように迅速な対応で、全力を尽くしてもらいたい」とあいさつを行いました。市役所では関係する部長及び課長が不測の事態に備えて待機するとともに、各課において、電算システムや水道部の上水道、水道料金システム、コンピューター機器等を確認し誤作動が発生していないことが確認されました。

ミレニアム 新たな千年紀の幕開け

助け合いと生きがいのあるまちづくり



石垣市長
大 濱 長 照

からいよいよ介護保険制度が導入されますが、その制度を有効に機能させるべく施設の整備や人材の育成に努めてまいります。

さて、二十一世紀を目前に控え、本市は都市目標宣言として掲げた「日本最南端の自然文化都市」世とびあしがきを目指し、

市民の皆様の英知と良識を結集し、互いに提携協力し足並みを揃えて邁進し市勢をさらに発展させなければなりません。また高齢化社会への対応、地方分権へ向けた足固めも重要な問題として取り組んでいく必要があります。

こうした中で、昨年は市民に大きな感動をあたえた第十二回全日本マチングバンドフェスティバルにおいて平真小学校・石垣第二中学校の日本一の快挙、オウシマダニの撲滅でダニ浄化地域に指定、外資系の大型リゾート施設「クラブメッド（地中海クラブ）・カピラ」のオープンを始め、将来の国際航空定期便開設に向けた石垣—台北間のプログラムチャーター便の運行、さらに大型クルーズ船の周年運行などがありました。

八重山圏域への観光入域客数は年間六十万人台の過去最高を記録し、旅行雑誌社による「行ってみたい日本一」に石垣島が選出。また三十六年ぶりに実現をみた本市とハワイ州カウアイ市の姉妹

都市締結の調印をはじめ交流都市四市の市長が来島し交流の輪が広がりをみせました。明けて平成十二年の本年は、地方自治新時代の到来とともに「いしがき新時代」の創造へより強固な礎とすべく極めて意義ある年であります。

市政の最重要課題である新石垣空港問題は新空港位置選定委員会が発足、早い機会に位置決定がなされ新空港の建設に向け大きく前進するものであり、私たち市民一人ひとりが今一度認識を新たにしておいて立ち向かうのであれば、石垣市の将来は、大きく開けるものと確信するものであります。

また、経済力の強い街づくりについても、農業の活性化をめざし市の基幹的産業であります経営基盤の確立や農村環境の整備に努めるとともに、景気の回復を期待しながら商店街の活性化、伝統工芸と特産品などの豊かな資源を生かした個性ある街づくりにも全力を傾けてまいりたいと思えます。

都市基盤と生活環境の整備が一定のレベルに到達しつつある今、街づくりへ寄せる市民の意識は「物の豊かさから心の豊かさ、ハードからソフトへ」と変化してきており、安心して生活できる街づくりが望まれております。このため重要な施策の一つとして高齢化社会の到来に備え、四月に実施

される介護保険事業のスタートに向け用意万端準備を進め、さらには市民の福祉、保健、医療の総合的なプロジェクトとして、保健医療福祉センターの着工を始め、お年寄りや障害を持った方々と市民の皆様が助け合いながら、生きがいを持っていける街づくりへ大きく踏み出してまいります。

一方、新年度予算については満額の子算を確保することができました。景気低迷が続くなか、これまでの実績を踏まえた公共事業の執行により、本市の経済動向に明るい状況を生み出せることができると期待するところであります。今年新しい世紀に向けた街づくりの指針となる「第三次石垣市総合計画」を策定をいたします。私の目標とするところは、夢と活力に溢れた健康な街づくりであります。世界に開かれた国際都市・日本最南端の自然文化都市石垣市の創造と地域社会の活力を生み出し、いしがき新時代「本市のさらなる飛躍の礎を築くため、新たな情熱を持って市政運営にあたる決意であります。なお一層のご支援ご協力をお願いしますの繁栄とご多幸をお祈りし、併せて本市の限らない発展を祈念申し上げます。年のごあいさついたします。

新たな千年期の幕開けとなる西暦二〇〇〇年平成十二年、本年も無事息災、市民の皆様には幸多い最良の一年となりますよう心からご祈念申し上げます。

昨年は、市民皆様のあたたかいご理解とご協力のもとに二十一世紀に向け明るく豊かな活力あるまちづくりに向けて全力で市政運営の多忙な日々を大過なく送ることができました。

これもひとえに市民の、ゆるぐことなく終始ふるさと「いしがき」に寄せる情熱の表れであり、ここに改めて皆様のご活躍とご尽力に心から敬意を表し感謝申し上げます。

さて、申し上げるまでもなく昨

年は国の内外を問わず多事多難な年でありましたが、とりわけ「Y2K」いわゆるコンピュータ二〇〇〇年問題には市民並びに関係機関の皆様的確な対応に心からお礼申し上げます。

県内においては基地問題をはじめ産業振興問題の解決に向け沖縄は大きな転換期をむかえております。普天間飛行場代替基地移転問題、沖縄サミットの開催決定など、揺れた一年でありました。

ところで、県内の景気状況を見ますと、観光は好調を持続しているとはいえ、就職難や高い失業率等経済の面において依然として不安を残しております。さらに少子化・高齢化が進む中で、本年四月

地方の時代にふさわしい 開かれた議会の改革を



石垣市議会

議長 小底 嗣 洋

新年、明けましておめでとうございます。輝かしい二〇〇〇年、平成十二年の新春を迎え、市民皆様におかれましては本年も無事息災、幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げます。

年頭にあたり、まず日頃から市議会に寄せられました市民皆様のご鞭撻とご協力に対し深く感謝を申し上げます。

本年は、二十世紀を締めくくる節目の年であり、決意を新たにして市政の一層の発展のため全力を尽くして参る所存であります。

何卒、お変わりないご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国の経済は、バブル崩壊の後遺症で景気の低迷が長期化し、本市においても経済環境は一段と厳しい状況にあります。国においては昨年末、総合経済対策を盛り込んだ第二次補正予算に続き、史上最大規模の八十四兆九千八百億円の本年度予算の編成を終え、様々な施策の展開で経済の新生を最優先に取り組んでいく方針を明らかにしています。

また、新年度の沖縄関係予算は沖縄の現状と本年七月開催の「沖縄サミット」を考慮して、例年のない国の配慮が示されており、沖縄の経済の白立的発展に道筋を開くもの

として期待されております。本市においても四月からの介護保険制度の開始と合わせ総合保健・医療・福祉センターの建設等、少子・高齢化社会に対する新たな行政需要

や財政出動も増えるものと思えます。市議会といたしましても情報公開と地方分権の時代にふさわしい「自己決定・自己責任の原則」に基づき、市民に

開かれた議会の改革を進めて参ります。市民各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。併せて皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

ユイマールの心で絆を大切に 台湾大地震の支援のお礼について



各学校や団体から多くの支援が寄せられました(写真は白保中学校と石垣中学校の皆さん)

この度の台湾大地震に際しましては、石垣市をはじめ、多くの市民の皆様からも物心両面の多大のご支援をお寄せいただきました。

この「ユイマール精神」に対し、台湾住民は永遠に忘れたくないものとして、国民の心に残るものと存じます。ここに石垣市と市民の皆様衷心よりお礼申し上げます。

引き続き被災者の救済と復興に全力をあげて取り組んでまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中琉文化経済協会駐琉球 代表 陳調和

長命草にあやかり



善都 親都

岡崎市長
中根 鎮 夫

石垣市民の皆様、新年明けましておめでとうございませす。輝かしい希望に満ちた平成十二年、記念すべき西暦二千年の新春を迎え、岡崎市民を代表して心からお慶びを申し上げます。

昨年二月、親善都市提携三十周年を記念して、本市の代表団が貴市を訪問させていただきました際には、本当に心温まる歓迎を受け、石垣市民

の皆様の素晴らしいお人柄と変わらぬ友情に触れることができ、心から感動いたしました。

また、八月には岡崎での花火大会に大濱市長はじめ二十四名の代表団の皆様をお迎えし、岡崎観光夏まつりをご視察いただくとともに、両市の友情をさらに深めることが出来ましたことは、誠に喜ばしいかぎりでございます。

二十一世紀を目前に控え、石垣市におかれましては毎年世界三十ヶ国以上からの参加者を誇るトライアスロン石垣島大会の開催、ハワイのカウ

アイ市との姉妹都市提携、八重山地区の観光拠点となる石垣港コースタルリゾートの開発や新石垣空港の早期建設など、国際観光都市として着実に発展を遂げられております

ことは、誠に同慶にたえません。本市におきましても、「人が輝く、活気に満ちた、美しい都市岡崎」を都市像とする第五次岡崎市総合計画「岡崎二十一世紀プラン」を策定するとともに、情報化、長寿化

社会に対応し、さらに環境にも配慮した都市づくりを目指しております。ところで、岡

崎の市営国民宿舎桑谷山荘では、昨年九月から御地で採れる長命草の粉末を混ぜたソバ粉による「長命そば」を打ち、新メニューとして加えたところ、すこぶる市民の好評を得ております。

長命草にあやかり、健康で長生きし、石垣市との交流もまたこのように末長く続くことを祈念いたします。

最後になりましたが、石垣市のさらなるご発展と市民の皆様のご清福を心からお祈り申し上げます。

将来への架け橋を築く



好都市 友都

稚内市長
横田 耕 一

友好都市石垣市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた二〇〇〇年の新春をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

石垣市と稚内市とは、日本列島の最南端と最北端に位置し、水産、農業、観光など産業形態を同じにする都市であり、「世界平和の鐘」を通して平和で豊かなまちづくりを進める友好都市の市民であります。

石垣市の皆様との交流も今年で十三年目を迎え、両市で開かれます物産展などの経済交流や文化・スポーツを通じて、南国と北国の交流を進めてまいりました。

昨年は本市のスポーツ少年団、地域の子供会、そして石垣島まつりには私が御地を訪問させていただきましたが、滞在中賜りました皆様の心温まる歓迎に、改めてお礼申し上げます。

本市の将来の発展に大きな影響を与えます、サハリン大陸棚資源開発も昨年から、原

油生産が開始され、本市企業に対しても仕事の発注がみられるなど、支援基地としての形を整えつつあります。

圏域住民をはじめ、多くの方々の熱い思いを受けながら、昨年五月一日から就航した北海道とサハリン間の定期航路も予定通りの運行を終え、まさに両国を結ぶ「道」として将来にわたって貴重な架け橋になると大きな期待をよせるところでございます。

本年も稚内市は基幹産業である「水産」「酪農」「観光」振興と発展を目指し「豊かさ

と夢と希望のまちづくり」を推進するとともに、国際交流拠点都市としての充実を推し進める所存でありますので、石垣市民の皆様には一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、石垣市と稚内市の友好がさらなる進展の上に、益々太い絆となりますよう切に願いますとともに新春の門出を迎え、石垣市民各位のご多幸、ご健勝を心より祈念申し上げます。

活気のあるまちづくりに感銘



蘇澳鎮
鎮長 李 坤山

新しい世紀が始まる二〇〇〇年紀を迎えるにあたり、石垣市民の皆様とともに祝福するとともに新年のご挨拶を申し上げます。

四年前の石垣市と蘇澳鎮との姉妹都市締結以来、経済団体をはじめ地元の皆様との協力の基に、お互いに交流活動や社会の振興発展をすすめ、両市の繁栄の進展に寄与されて

した。

私も昨年の十一月に鎮長就任以来初めて石垣市を表敬訪問しました。その際、石垣市の地理的な優位性をはじめ観光名所の整備や活気ある施策に感銘を受けました。

また大濱市長の素晴らしい指導の下で市民の皆様が勤労に勤しみ、我々も学ぶべきところが多くあります。

蘇澳鎮は台湾の宜蘭県南東部に位置し、海や山に囲まれております。また、環境に配慮した公害のない工業を推進し観光面においても冷泉や

清明時代の遺跡を数多く有しております。さらに、農業・工業・漁業をはじめ豊富な産業があり、地下資源にも恵まれております。

一方、蘇澳鎮は台湾の三大漁港の一つで、毎日豊富な魚が水揚げされる活気ある漁港です。近くには市場を中心にして漁村があり活気があふれて、夕刻になると大漁の船が帰ってセリの声でにぎわっています。

本市においては観光面においても様々な体験ができますので、是非一度訪れて下さい。

交流は将来への財産



カウアイ市
市長 マリアンWクサカ

新世紀を迎えるこの大切な時期に、カウアイ市長として、姉妹都市である石垣市の市民の皆様へ、暖かいアロハの心でご挨拶を述べさせて頂ける機会を頂きましたことを、大変光栄に思います。

石垣市と姉妹都市が締結されたことは、有意義な出来事であり、将来へ向けて継続すべき財産であります。

前世紀の出来事をかえりみますと、多様な文化をお互いが育み慈しんできたことを最大の喜びとし、画期的な出来事であったと認識するものです。

ハワイの遺産と文化の発展を私たちは共通の根幹をもっているがゆえに、一緒になって分かち合ってきたのです。

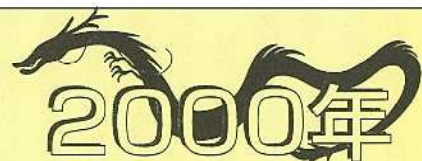
二〇〇〇年紀の誕生を祝うに当たって、石垣市民とカウアイ市民が希望に満ちて、さらなる協力を継続し、友好関係がますます深まることを希望します。

姉妹都市を結んだことにより、私たちは世界平和のために協力する規範となり、子孫に大いなる遺産を残すこととなります。

過ぎし日々思いを馳せ、祝福するとともに、より良い明日に向かって飛び立つ時です。良い年始をお楽しみ下さい。新年を迎えるにあたり、皆様のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

ハウオリ マカヒキホウ!

困難を乗り越え 躍進する年へ



辰(たつ)は十二支の中でただ一つの空想上の動物です。一般的には「竜」と書き「タツ」や「リュウ」と呼ばれています。

竜は古代神話や「日本書紀」に登場し、雲を呼び、雨を降らせる神として古くから信仰されており、日本各地に竜神・水神として残っています。「竜」のつく言葉では「竜頭蛇尾」「画竜点睛」「登竜門」など中国の故事に由来する言葉が知られています。「登竜門」は、黄河上流の急流の渓谷、竜門をのぼりきった魚が竜に変わったという伝説から、成功への一歩となる難関という意味があります。

八重山の食文化を築く

ふる里の味と都会の味を 調和させる



長年の郷土料理研究の成果として出版された本を手にする石垣さん

食文化とともに栄える

人類は、生活環境に順応して食文化を築いてきました。それぞれの気候や風土の中でそれに適応した作物を作り、山野で狩りをし、海浜において様々な漁法を駆使して食材を手に入れて、不足しがちな食物があれば、それを補う工夫と努力を重ねてきました。

母の手ほどき

風土と食生活の関係は、深くつながり、それぞれの土地柄に合った食文化が育まれました。

また、火を使って「調理」する技術をもったおかげで多種多様なものを食材となし、味・香り・彩りなどを楽しむことができました。

また、食べることの知恵を伝承し発展させていくことは、人間の長寿と健康を約束してくれました。

字大川で民宿を営む石垣愛子さんは那覇市の生まれで、県立第一高等学校時代に第二次世界大戦に遭遇し、宮崎県などで疎開生活を送りましたが、戦後、先島行きに船に乗って、両親の故郷である石垣島にまいりました。その後、結婚するまでの数年間、琉米文化会館などで仕事をする傍らで、母親の筆子さんから調理の手ほどきを受けました。

また、昭和五十一年から民宿を経営しはじめたことが郷土料理の研究を深めることになりました。

郷土料理を記憶に残す

長年にわたって培った郷土料理への尽きることのない探究心を形にするため、平成七年八月に「珊瑚の島の家庭料理」として、郷土の定番料理から亜熱帯植物料理等をまとめた本を出版しました。

ゴーヤー、ヘチマ、パパイヤなどの紹介をはじめ、独特

の調理方法をカラー写真によって紹介しており、分かりやすく楽しめる内容になっております。

その後、各方面からの反響に応えて、続編を昨年（平成十一年四月）に出版しております。

時代とともに変わる食

石垣さんは母親直伝の調理法を基に、味覚神経の発達した現代人に合わせて食材を吟味し、調理法を研究してまいりました。そのような作品の中には、昔ながらの味をそのまま残した料理とは異なったバラエティーに富んだものもあります。時代の流れとともに変化してゆく食文化の一環といえましょう。

石垣さんは同書の中で「なつかしいふる里の味と都会の味とのめぐり合いによって島の食文化はゆるやかながらも変化を遂げてゆきます。昔ながらの味をそのまま残して伝わってきたものもあります。時代の流れのなかで、多少なりとも伝承してきたものなどを本書でとり上げてみました」と記しております。

確定申告は郵送が窓口

石垣税務署では、確定申告書・収支内訳書などの提出書類について、自分で正しく作成し、郵送等により提出していただく「自書申告」を推進しております。

平成十一年度分所得税の確定申告期限は二月十六日から三月十五日までです。消費税の課税事業者の方は平成十二年三月三十一日までに「所得税及び地方消費税確定申告書」を作成して税務署に提出して下さい。

確定申告による所得税の納付期限は三月十五日、消費税等の納付期限は三月三十一日です。期限内に納付して下さい。また「振替納税」を利用していらっしゃる方は、預金口座の残高を確認して下さい。

女性就業支援セミナー 二月九日に支援

県女性就業援助センターでは、二月九日水曜日午前十時から午後四時までの間、石垣市役所二階会議室において、「女性就業支援セミナー」を開催します。講師は宇久田恵美子さんと島仲ルミ子さんです。申込みを希望される方は二月四日金曜日までの間、市役所商工課へ申し込んで下さい。（電話二一五三三）

調査員は介護保険への案内人 あなたの身の回りを調査

市役所介護長寿課においては「要介護認定」の申請に基づいて「訪問（認定）調査員」が心身の状態について調査員が自宅において聞き取り調査を行います。

2名の調査員は10月号において紹介しましたので、その後調査員となられた2名を紹介いたします。

訪問調査員



宮 良 富美子
石垣市八島町1-8-3



池 城 恵美子
石垣市字新川9-2

寝たきり、痴呆の方々に介護を必要とする方は石垣市介護長寿課の窓口へ申請して下さい。

【問い合わせ】石垣市役所介護長寿課 ☎ 2-7158

市・県民税の申告と 国保手帳の切り替えを行います

下記の日程表のとおり平成12年度の市・県民税（兼国民健康保険税）の申告と国民健康保険証（国保手帳）の切り替えを行います。

2月16日から2月25日までの間は同時に行いますが、2月28日以降の国民健康保険証の日程については市・県民税（兼国民健康保険税）の申告日程と異なる場合があります。

国民健康保険被保険者証更新のお知らせ

現在、使用している国民健康保険被保険者証（国保手帳）は、3月31日で使用期限が終了します。そのため、下記の日程のとおり、税の申告と同時に被保険者証の更新を行います。決められた期日に手続きをしていただきますようお願いいたします。

手続きに必要なもの

- ①現在使用している国保手帳
- ②世帯主の印鑑（認印でもよい）
- ③更新通知ハガキ
- ④学生の国保手帳の場合は在学証明書が必要です。
- ⑤保険税を納めていない方は、保険税を納付して下さい。

税の申告と国保手帳の切り替えの日程

月日	曜	時間	地区	場所
2月16日	水	10:00~11:00	平野	平野公民館
		11:30~12:30	平久保	平久保集落センター
		13:30~14:30	久宇良	久宇良公民館
		15:00~16:00	明石	明石集落センター
2月17日	木	10:00~11:00	伊原間	伊原間公民館
		11:30~12:30	伊野田	伊野田公民館
		13:30~14:30	星野	星野公民館
		15:00~16:00	大里	大里公民館
2月18日	金	9:30~10:30	野底	栄公民館
		11:00~11:30	野底	兼城公民館
		11:30~12:30	野底	多良間公民館
		13:30~14:30	開南・おもと	おもと公民館
		15:00~16:00	三和・川原	川原集落センター
2月21日	月	10:00~11:00	米原・富野・大田・伊土名	米原公民館
		11:30~12:30	吉原・大嵩	吉原公民館
		13:30~14:30	崎枝	崎枝公民館
		15:00~16:00	名蔵・嵩田	名蔵公民館
2月22日	火	9:30~12:00	川平	川平集落センター

月日	曜	時間	対象地区	場所	
2月23日	水	9:30~12:00	白保	白保公民館	
		13:00~16:00	宮良	宮良公民館	
2月24日	木	9:30~12:00	平得	平得公民館	
		13:00~16:00	真栄里	真栄里公民館	
2月25日	金	9:30~12:00	大浜	大浜公民館	
2月28日	月	9:00~12:00 13:00~16:00	登野城1・2区	市役所内特設窓口	
2月29日	火		登野城3・4区		
3月1日	水		大川5・6区		
3月2日	木		石垣7区		
3月3日	金		石垣8区		
3月6日	月		新川9・10区		
3月7日	火		新川11・33区		
3月8日	水		新栄町		
3月9日	木		美崎町・浜崎町・八島町		
3月10日	金		指定日に申告ができなかった人(予備日)		市役所第1・第2会議室
3月13日	月				
3月14日	火				
3月15日	水				

3月16日以後は課税調査事務作業等のため、申告受付を行いません。

期間内に申告していただきますようお願いいたします。

はたち 20歳の役割



社会の一員として 果たすこと

一月十日は、石垣市では八百五十一人の若者が大人の仲間入りを果して祝福されました。

二十歳を過ぎると法律的にも社会的にも一人の大人とみなされ、さまざまな権利や義務が課せられます。

政治に参加する手段として「選挙権」が得られるほか、「国民年金」等への加入が義務づけられます。

二十歳からの権利―選挙権「選挙」は私達が政治に参加する重要な機会です。税金や福祉、教育、経済活動など、政治は身近な暮らしと権利に直接関わる問題です。

私たちは「選挙」を通して、どのような社会にしていきたいか自分の意見を示す一票を

いかに自分の意見を示す一票を

いきたいか自分の意見を

一票を権利として与えられ

ます。まちづくりは、市民一人ひとりが主役です。政治や行政にも積極的に参加しましょう。

二十歳からの義務―国民年金

日本に住む二十歳以上、六十歳未満のすべての人は「国民年金」への加入が義務づけられています。「年金」は遠い将来の話ではなく、若者にとっても身近な問題なのです。国民年金は、働く世代が納める保険料で老後世代の生活を支え、自分たちの老後は次の世代が支えるというように、世代と世代の支え合いによって成り立つ公的年金制度です。

もし公的年金制度がなかつたら、両親の生活費を負担したり、自分の老後に備えて貯蓄することは難しい状況です。年金制度は、老齢年金の他に、病気やケガで身体に障害が残ったら「障害年金」、加入者が死亡したときには「遺族年金」が支給されます。

保険料を納めないと、最悪の場合、年金が受け取れない場合があります。

はたちの献血

「献血」は、健康な人が医療に貢献できるボランティアです。血液は医学の発達した現在でも人工的につくりだすことはできません。そのため、献血は医療を支える重要なものです。

献血された血液は、赤十字血液センターでウイルス感染などの厳しい検査をした後、輸血用血液などとして医療に使われます。

「はたちの献血キャンペーン」は二月二十九日まで行われております。成人となった皆さんにも、献血への多くのご協力をお願いします。

もし公的年金制度がなかつたら、両親の生活費を負担したり、自分の老後に備えて貯蓄することは難しい状況です。年金制度は、老齢年金の他に、病気やケガで身体に障害が残ったら「障害年金」、加入者が死亡したときには「遺族年金」が支給されます。

名蔵川土地改良区 総代三十七氏決まる

平成十一年十二月十二日執行の名蔵川土地改良区総代選挙において当選した者は、次のとおりであります。

- △宮良用吉(字登野城七〇二番地の四) △大浜博彦(字登野城七四一番地の一) △宮良政宏(字登野城四〇四番地) △小波本直弘(字登野城三五九番地) △比屋根健(字登野城四一七番地の五) △与那覇致効(字登野城二二三番地) △佐久川栄有(字大川三八一番地) △宮良信和(字大川五三番地) △浦崎致清(字石垣九六番地) △玉代勢孫吉(字石垣六三三番地) △玉代勢孫芳(字石垣一七二番地の三) △仲新城長公(字石垣三八六番地の二) △石垣貴史(字石垣二四六番地) △翁長致英(字新川二四六番地) △山盛邑保(字新川二四五番地) △漢那憲仁(字新川一四八番地の三) △仲唐貞治(字新川一九二番地の二) △南全昌(字平得一八八番地の二) △伊志嶺敏彦(字名蔵二四三番地の二七四) △岸本重一(字川平六八二番地の三) △供給公社(字石垣一三六五番地) △徳村浩(字登野城三七九番地の一) △野原薫(字真栄里五六番地) △芳沢和則(字真栄里一〇〇番地の二) △広田信吉(字登野城二三八九番地) △宮良信助(字登野城一二五二番地の三) △黒島毅(字登野城二六九番地) △宮城典朗(字登野城三五七番地) △喜舎場信升(字石垣一〇一番地の二) △仲本長三(字新川二二二番地) △入嵩西敦(字新川二〇七番地の二) △添盛光淳(字平得三三七番地) △洲鎌二郎(字名蔵二四三番地) △福本壮得(字名蔵二四三番地の四七二) △比嘉豊(字名蔵二四三番地の二五〇) △平安名貞市(字名蔵二四三番地の四七一) △大原剛(字大浜一七三番地の二)

石垣市選挙管理委員会

避難場所及び 避難対象図



大地震や津波など規模の大きな災害が発生した場合、石垣市では、市民の皆様の安全が確保できるように「避難場所」を指定してあります。私たちは災害そのものを防止することはできませんが、日頃から災害に備えた生活を行い災害に強いまちづくりを進めましょう。

税に関する作文



石垣中学校 2年
松井 弥恵子

【石垣税務署長賞・中学生の作文】

私の疑問は、「税金」とは何か、税金とは何に使われているのかというものであった。早速、図書館で調べてみると「税金」とは行政活動に必要な経費で、国や地方公共団体が行政活動を通じて私達の生活に欠かすことのできない公共サービスなどを提供する為に必要な費用だとあった。

「税金」は何に使われるのか、という疑問に対しては、行政サービスの財源となつて私達のもとに帰ってくるというものだった。

私が最も驚いたのは、一年間の教育費で、小学生一人当たり約七十六万円、私達中学生一人当たりでは、約八十六万円もの税金が使われているということだ。

一クラスでは、単純に計算すると、三十万円も使われているのだ。

九月まで利用できるという地域振興券も、税金に関わりがあるのではないかと新聞を調べてみた。すると「国が地域経済の活性化対策として十五歳以下の子供のいる世帯と老齢福祉年金の受給者に交付するもの」「個人消費を刺

激して、地域経済の活性化を図ることを狙いにした地域振興券」ということが書かれてあった。

「税金を支払っている国民に国が経済活性化の為に、地域振興券を交付したんだな」と私は思った。

十五歳以下といえば、何と私たち六人兄弟姉妹全員が該当した。

「一人二万円だったら、十二万円もらえる」。私たちは家族で大喜びした。母は半信半疑で会場に出掛け、一枚千円の地域振興券を百千枚手にしたのだ。

「この時ほど、子だくさんで良かったと思ったことはなかったよ、これはご褒美だね」と私たちに笑ってみせてくれた。早速、父母は壊れていたのを何度も修理しては使っていた洗濯機を購入した。それから、行ってみたら焼肉レストランへ、姉の高校合格祝い兼ねて出かけた。私は肉を噛みしめながら地域振興券を下さった日本の国に感謝をした。それから、父母は「生まれてきてありがとう」と一人に五枚ずつ配ってくれた。

私は以前から欲しかったバスケットボールを、双子の一人、真理子と合わせて購入した。満足だった。私は今、中学生。私たちのためにたくさん税金が使われている現実を思うと真面目に学習しなければいけないと思っている。私も将来働けるようになったら「税金」のことを深く知り、前向きに社会に役立つ人になりたい。

指定避難場所一覧

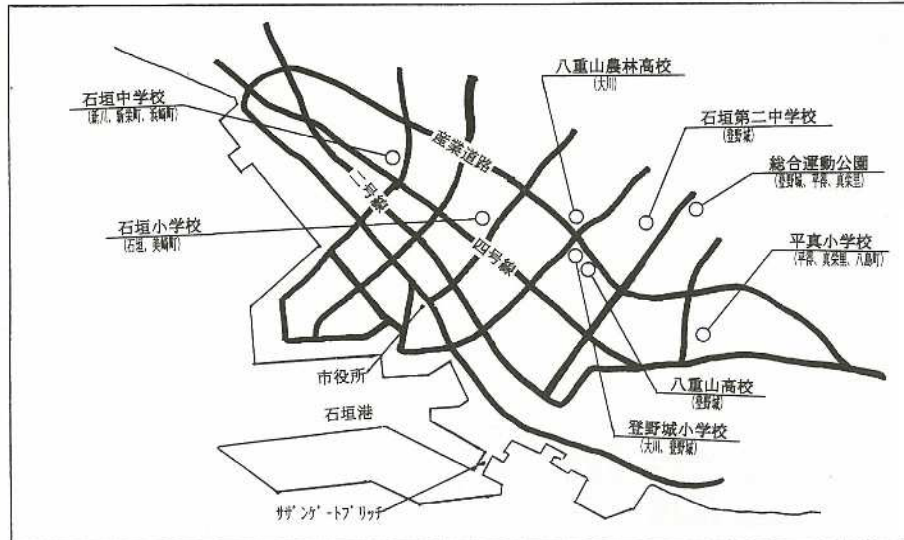
避難場所	避難対象地域
石垣少年自然の家	双葉地区、真喜良地区
石垣中学校	新川、新栄町、浜崎町
石垣小学校	石垣、美崎町
八重山農林高校	大川
登野城小学校	大川、登野城
八重山高校	登野城
石垣第二中学校	登野城
総合運動公園	登野城、平得、真栄里、
平真小学校	平得、真栄里、八島町
大浜中学校	大浜、磯辺
宮良小学校	宮良
川原小学校	川原、三和
大本小学校	おもと、開南
白保中学校	白保
大里公民館	大里
とりなき山	星野
番屋	伊野田 1・5 班
金毘羅	伊野田 2・3 班
伊原間はんな岳	伊原間
トムル岳・共同墓地	明石
久宇良公民館	久宇良
せんたくがーら	平久保
平野公民館	平野
兼城公民館	兼城
栄公民館	栄
多良間公民館	多良間、下地
伊土名水源地高台	伊土名
富野公民館	富野
米原野ヤシ展望台	米原
古原公民館	吉原
大嵩公民館	大嵩
川平小中学校	川平
崎枝小中学校	崎枝
バンナ森林公園	名蔵、高田

災害ボランティアの輪を広げよう

5年前、6,433人の犠牲者と市街地の壊滅的な被害をもたらした阪神・淡路大震災。この震災で、被災者同士の助け合いの大切さとともに注目されたのが延べ140万人に上る災害ボランティアの活躍でした。

政府は毎年1月17日を「防災とボランティアの日」1月15日から21日を「防災とボランティア週間」とすることを決めました。

大切なのは無理をせず、出来ることから始めることです。「いざ」というときに自分の力を役立てる心構えを持ちましょう。



※ 避難場所下段の () は対象地区

税に関する作文



八重山高校 1年 大工明奈

【石垣税務署長賞・高校生の作文】

「税について」この作文を書くにあたって、あまり「ピン」と感じるものがありませんでした。なぜなら「税」は私たち高校生には、あまり関係のないもののように感じられたからです。私は、この作文を書く前に「税」について考えてみました。すると私たちは普段あらゆるところで税と関わっていることに気がついたのです。

まず、たくさんある税のなかで高校生である私たちとも深い関わりのある「消費税」が私の頭の中に浮かび上がりました。私たちが主にこの消費税を納める場所として、スーパーや本屋、服屋、靴屋などたくさんの店が挙げられます。このような店で商品を買うとき、商品の値段の五％を商品の値段と足してレジで清算されるのです。

こういうふうになると、私たち高校生だつて立派な「納税者」と呼べるのです。「納税」つまり税金を納めることは、市民であり県民であり、そして国民である私たちにとって義務なのです。しかし、市や県、国などに納められている税が、いったい何に使われているか知らなかった私は、消費税がもともとなく、それが三％から五％まで上がった事に対して正直言うと、少し不満でした。

そして他にも私と同じ意見を持つ人がたくさんいたことと思います。しかし、よく考えてみると私たちの納めた税は、いろいろな使い道があると思います。その中の一

つとして公共の施設のすべての工事の際、その費用として使われているのです。そしてその施設を利用する私たちは、そこを利用する際、「税を納めることは決して損ではない。」と感じると思います。例えば、体育館や図書館、学校などがそうですね。私たちが快適で楽しく過ごすために私たちは税を納めるのです。そういうことで、これから大人になっていく私たちは消費税だけではなく、たくさん税と関わり納めることになるでしょう。

私はその税と仲良く付き合う方法が三つほどあると思うのです。まず一つ目に、私たち若者が税についてもっと考え、知るところだと思えます。もちろん私も含めて、若者をもっと関心を持つべきなのです。税をどうして納めなければならないのか、納めた税が何に使われているのか、といういろいろ疑問に思い、その結果納得してほしいのです。

そうすれば私たち納税者も満足できるはず。二つ目に、私たちの納めた税を無駄遣いしないで、皆の役に立ててほしいのです。そうすれば私たち納税者も満足できるはず。三つ目に皆がちゃんと税を納めることです。

「私が納めなくても他の人が納めているのだから」と思う人が何人もいたら、それこそ大変なこと。少数の人が高い税を納めたり、公共施設の工事が遅れたり造れなかったり。やっぱり皆が平等に納めることが一番よいのです。私が思うにはこの三つ目の方法が一番肝心だと思うのです。最後に、今回の作文を書くことによって、今まではあまり関心のなかった税に対して、興味だけ持たような気がします。これからは興味だけに終わらず、税についてもっと勉強し、もっと真剣に考え行動していきたいです。なぜなら私は「納税者」だから。

学ぶ意欲をバックアップ 国の教育ローンを活用して下さい

国民生活金融公庫では、進学による家庭の経済的負担を軽くするため、低金利で教育資金の融資を行う「国の教育ローン」を取り扱っております。

「国の教育ローン」の申込みは全国の国民生活金融公庫、銀行、信用金庫、信用組合などの窓口で年間を通して受け付けております。

融資を利用できる方は、融資の対象となる学校に入学・在学する方の保護者で、年間収入が1,210万円（事業所得者は990万円）以内の収入。

融資の対象となる学校は、高校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院、専修学校、各種学校、予備校等。盲学校、聾学校、養護学校の各高等部。外国の高校、大学等。その他の職業能力開発学校などの教育施設。

融資の概要

- (1)融資額：学生・生徒一人につき200万円以内
- (2)返済期間：10年以内（交通遺児家庭または母子家庭の方は、一年の延長が可能）
- (3)保証：財教育資金融資保証基金または保証人
- (4)返済方法：毎月元利均等返済、ボーナス月増額返済（融資額1/2以内）

【問い合わせ】 ☎ (03) 3242-8739

西暦2000年 今年も国勢調査の年



10月調査開始

今年西暦2000年は、5年に一度の国勢調査が実施される年です。調査は10月1日現在で全国一斉に行われます。

調査結果は地域や国をより良くする重要な基礎データとなります。対象者は日本に住むすべての人で、生まれたての赤ちゃんや外国人も含まれます。

調査票が配付されるのは9月下旬、提出期限は10月9日です。10月1日現在のあなたの現況を調査票に記入して下さい。

健康相談のお知らせ (平成12年1月20日～2月29日)

健康増進課では市内各所において保健婦による健康相談を行っております。（日時と場所は次のとおりです。）

【主な相談内容】

- ①成人相談（血圧測定・基本検診の結果等）
- ②乳幼児相談（身体測定・予防接種等）
- ③健康上の悩みごとや困っていること。

石垣市役所保健婦室（健康増進課内）

- 1月28日（金）午後1時～3時
- 2月11日（金）午後1時～3時
- 2月25日（金）午後1時～3時
（毎月第2・4金曜日）

登野城漁港（東2組倉庫）

- 2月3日（木）午前9時30分～11時30分
（毎月第1木曜日）

新栄町自治公民館

- 2月2日（水）午後1時30分～3時30分
（毎月第1水曜日）

真喜良第2団地集会所

- 2月2日（水）午後1時30分～3時30分
（毎月第1水曜日）

川平保健指導所

- 1月28日（金）午前10時～3時
 - 2月11日（金）午前10時～3時
 - 2月25日（金）午前10時～3時
（毎月第2・4金曜日）
- ☎ 8 - 2203

伊原間保健指導所

- 1月25日（火）午前10時～4時
 - 2月8日（火）午前10時～4時
 - 2月22日（火）午前10時～4時
（毎月第2・4火曜日）
- ☎ 9 - 2933



【問い合わせ】

- 市役所健康増進課 ☎ 2 - 1279
- 川平保健指導所 ☎ 8 - 2203
- 伊原間保健指導所 ☎ 9 - 2933
- 旧港湾ターミナルビル ☎ 2 - 4200

母（父）親学級へのご案内

母（父）親学級では丈夫な赤ちゃんを産み育てるために、お産の仕組みや妊婦体操・呼吸法・栄養などについてアドバイスをしています。少人数の講習で話しやすい雰囲気です。ぜひ参加して下さい。

2月9日（水）午後1時30分～1時45分（受付）
ビデオによる講話を行います。また、母と子のための制度、妊婦体操、歯科医師による歯の話などを行います。（第1課）

2月16日（水）午後1時30分～1時45分（受付）
ビデオによる調理実習を行います。妊婦中毒症・肥満について、実際に作って試食します。エプロンを持参して下さい。（第2課）

2月23日（水）午後1時30分～1時45分（受付）
ビデオによる体操実技を行います。体操を通してお産の仕組みやお産の準備、妊婦体操・呼吸法・先輩ママとの交流会を行います。（第3課）

場所：旧港湾ターミナル2F
時間：午後1時30分～4時30分
健康増進課長 ☎ 2 - 1279
旧港湾ターミナルビル ☎ 2 - 4200

乳幼児検診及び相談

【3～4ヶ月の乳児】（毎月第4土曜日）
2月26日（土）午後1時～3時（受付）
（対象：平成11年10月生まれの乳児）

【9～10ヶ月の乳児】（毎月第4土曜日）
2月26日（土）午前9時～11時（受付）
（対象：平成11年4月生まれの乳児）

【1歳6ヶ月児】（毎月第2・3木曜日）
2月10日（木）午後1時～2時（受付）
2月17日（木）午後1時～2時（受付）
（対象：平成10年7月生まれの乳児）

【3歳児】（毎月第1・4木曜日）
2月4日（木）午後1時～2時（受付）
2月24日（木）午後1時～2時（受付）
（対象：平成8年10月生まれの乳児）

【妊産婦・乳幼児相談】（毎月第3火曜日）
2月15日（火）午後1時～2時（受付）
（対象：希望者）

【離乳食実習】（毎月第2火曜日）
2月8日（火）午後1時30分～1時45分
（対象：4ヶ月児）